



水難事故に 注意!



山口県では令和元年中、水難事故が46件発生し、水難者は49人でそのうち30人の方が亡くなっています。

特に、夏期（7月～8月）は水に親しむ時期で、水難事故の発生が集中しています。

水の事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- 幼児や児童の水遊びは、安全な場所を選び、常に保護者が監視しましょう。
- 海や川などの水場へは、保護者や監視人が付き添いましょう。
- 子供の年齢や水泳能力、天候、場所等を考えて、危険な水遊びをさせないようにしましょう。
- 万一来て備えて、浮き輪やライフジャケットなどを用意しましょう。
- 飲酒して海や川に入らないようにしましょう。
- 雨が降って増水した河川、ため池には入らない（入らせない）ようにしましょう。
- ため池、古井戸、工事現場の水たまり等の危険な場所には、柵、立て札、蓋等の安全措置をとりましょう。



みんなで、声を掛けあって、水難事故防止!